

令和6年度 清水町立清水中学校 学校だより

六華の教え

自立・共生・協力
・挑戦・探求・創造



令和6年10月28日 第19号文責 校長 内田得裕

かわっただけだよ ヘンじゃない

かわった？ わからない わかった？ かわらない
大きな声で歌ったり はい！手を上げて発表したり きょねんは楽しかったのに
ことしはなんだかはずかしい ヘンなのわたしだけ？
グラタンおかわり はい！はい！はい！ジャンケン勝ったらひとりじめ
きょねんはうれしかったのに ことしはなんだかはずかしい ヘンだな ぼくだけ？
かわっただけだよ ヘンじゃない わたしのチェンジ ぼくのチェンジ
かわっただけだよ ヘンじゃない きょねんとことし ちがってあたりまえ
かわった？ わからない わかった？ かわらない
雨 運動会は延期かな 教室でお弁当 きょねんはかなしかったのに
これはこれでいいかんじ ヘンかなあ
晴れるといいね ピクニック わいわいおしゃべり 川遊び
きのうは行くって言ったけど きょうはひとりでいたいかも ヘンかなあ
かわっただけだよ ヘンじゃない わたしのチェンジ ぼくのチェンジ
かわっただけだよ ヘンじゃない わかってほしいの ぼくたち まだ途中
きのうときょうは ちょっとちがう
きょねんとことしは ぜんぜんちがう
きのうとちがう あしたはきっとおもしろい

この歌詞は2024年度 NHK 全国合唱コンクール小学校の課題曲で、宮藤官九郎さんが作詞したものです。小学生の低学年の時は、何でも元気よく「ハイハイ」と手を上げていましたが、中学生になると正解かどうかを判断するまでに時間がかかったり迷ったりして簡単に手を上げられなくなるものです。また「誰かが発表すればいいや」という気持ちもわかります。今まで当たり前に行ってきたことが、成長し大人になるにつれ周りを見ることができ、恥ずかしかったり抵抗感が出てきてしまいます。きっと誰もが通った道なんでしょうね。

この文化祭で、清水中の生徒は大きく成長しました。しかし心にも成長痛があるように、ある一部分が発達し、他の部分がその成長に追いつかず痛みを負う場合があります。何が正しいことか分かってきて、今まで当たり前に行ってきた自分への嫌悪感。頑張りたいのに頑張りがきれない不安感。他人の欠点も今までより見えてくることもあるかもしれません。

でも「かわっただけだよ ヘンじゃない」。いいんです。それでいいんです。私の歳になっても清水中のこの2年だけでも変わっています。昨年、「なぜこうなんだろう？」と思っていたことが今年になってその理由が理解できたり、今までよいと思っていたことが「なんか違う」と感じてしまい、昨年と反対のことを言っている自分がいます。未だに迷い続けています。変わって当たり前。今の自分を信じて今のベストを目指していきたいと思います。

11月行事予定

- 6日 3年進路説明会
- 7日 全学年学力テスト
- 8日 3年認知症サポーター講座
漢字検定
- 9日 十勝子ども大会演劇・意見発表
- 10日 十勝子ども大会合唱
- 11日 振替休業
- 12日 3年家庭科高齢者との関わり
- 14日～三者面談
- 19日 3年防災学習
- 20日 1・2年防災学習
- 26日 清水教育の四季子どもフォーラム
- 27日 1・2年後期中間テスト
- 29日 清水町教育研究大会
- 30日 全十勝秋季卓球大会

2年職業学習

1 職業講話

①辻屋精肉店の辻屋裕康さんからは仕事に必要なことを学びました。1つ目は応用力。周囲をみて考える、疑問をもち人に聞いて理解することが大事。2つ目はコミュニケーション力。その人から物を買って信用できるか？コミュニケーションをとり信用を勝ち取る。3つ目は人脈。人のつながりをもっていると、簡単に解決することもある。仲間は多いほど良いというお話を聞かされました。



②役場職員の吉田寛臣さんからは、役場職員として清水町の発展のため何ができるか。公務員として町を好きになり、まずは動いてみる事が大切である。そして仲間作りが自分を豊かにするというお話を聞くことができました。

2 マナー講座

10月10日は帯広信金より講師を招き、マナー講座を行いました。「挨拶は先手必勝」「どのレベルの挨拶ができるか」「人は第1印象でほとんど決まる」など挨拶の重要性やどのような挨拶が素敵なのか体を動かし体験することができました。講座の後半にな



るにつれ、どんどん笑顔が増え挨拶の楽しさが身にしみてきたようです。

3 職業体験

10月16日には、清水町の各所にて職場体験を行いました。最初は緊張気味でしたが、どんどん仕事の内容になれていき、後半は生き生きと活動していたようです。

あすなろファーム様、しみず認定こども園様、清水小学校様、美容室シンデレラ様、えびすや菓子舗様、清水郵便局様、清水町役場様、老人ホームせせらぎ荘様、清水赤十字病院様、清水図書館様、カフェダイニングサルビア様、清水消防署様、クリアロード様、北洋銀行清水店様、帯広信金清水店様、サツドラ十勝清水店様、ごはん屋ゆめあとむ様、マツダ販売所清水店様、フクハラ清水店様、誠にありがとうございました。



将来の職業に向けて、今すぐ決める必要はありませんが、自分が何をしたいのか、どうしたら生き生きと楽しい生活を送れるのかなど考えていくことが大切です。これを機に家庭でも働くことの大変さや喜びを話し合っただけでしたら嬉しいです。



文化祭

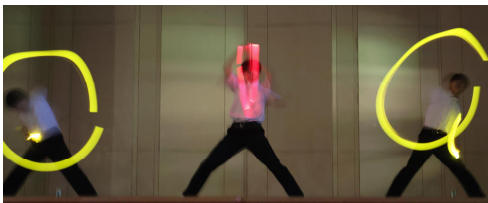
10月5日に文化祭を実施いたしました。夏休み前から徐々に準備に入り、2週間前から特別時間割の中で一気に活動が活発になりました。文化祭準備期間では、生徒たちが

自分で仕事を見つけ出し、次々と仕上げていく姿に感動しました。特に今年から生徒アンケートにより加わったステージ発表では、各クラス5分という短い時間でそれぞれの創意工夫があり見事完成に持って行きました。正直「時間オーバーのクラスがたくさん出るのでは？」と思っていたのですが、移動や準備時間が練習ごとに手際よくなり「すごい！」と思いながら応援していました。

吹奏楽部の演奏で始まった文化祭。今年も素敵でした。落ち着いて自信を持った素晴らしい演奏。さすがです。一緒に共演した教職員も頑張りましたね。開会式では学校制作のモザイク画と学級旗の発表があり、代表者が自分の作品に胸を張り自信を持って紹介してくれました。合唱コンクールは本当にすごかった。私の教員生活の中でトップクラスの合唱でした。今回は学年関係なく賞を決めたのですが、学年ごとの基準なら6クラスとも金賞ですね。その中でも3年B組の「ほらね」は圧巻でした。鳥肌が立ちました。そして全校合唱の「第九」。3年生に引っ張られ全校生徒がひとつになった瞬間でした。そして、ステージ発表。各クラスの個性が満載で、30分ずっとワクワクしていました。最後は演劇。難しいテーマに挑み、演者がその役になり

き私も一緒に考えさせられました。担当の佐々木教諭によると「表に出た役者も上手だったけど、裏方の生徒の動きが最高だった。」と話してくれました。みんなで作った舞台でしたね。展示係もきれいで見やすさを求め完璧でした。なにより当日の全体進行や文化祭を盛り上げるために常に動きまわっていた実行委員の皆さん、最高です！

この文化祭を通して、生徒たちの成長をたくさん見つけることができました。ヒーローがいっぱいいましたね。感動をありがとう！！



意見発表大会

学級予選、校内意見発表を経て、10月9日に清水町意見発表大会を御影中学校にて開催しました。

清水町意見発表会



それぞれの発表内容は、

澁谷希美さんの演題「大切な存在」。父の病気から家族の大切さを感じ、自分ができことをやり、他人に優しくになりたい。

西あゆみさんの演題「命の大切さ」。ペットショップの必要性に疑問を持ち、命あるものを売買をしてほしくない。命を大切にしてほしい。

佐々木風牙さんの演題「子ども」。自分が悩んでいるときに母から「子どもなんだから勉強だけでなく遊んだり休んだりすることも大切」等、この家族に生まれて幸せ。

宮武菜子さんの演題「聴覚障害者への配慮」。祖父の耳が聞こえなくなり、障害者が生きやすい優しい世界を願っている。

桐木結風さんの演題「自分で選択すること」。自分からやりたいという気持ちを持ち、人はたくさんの選択で生きている。自分のために自分の将来をしっかりと選択したい。

櫻井葵さんの演題「人生に音楽は必要なのか」。音楽は人の心を動かし、音楽のない世界は寂しい。自分の演奏でみんなを笑顔にしたい。

<結果>最優秀賞＝桐木結風、優秀賞＝宮武菜子、優良賞＝澁谷希美・西あゆみ・佐々木風牙・櫻井葵

桐木結風さんが清水町の代表として十勝子ども大会に2年連続で出場します。おめでとう。でも6人とも本当に素晴らしい発表でした。私には順位がつけられません。審査員の方はきっと苦労したことでしょう。また、学級代表にはなりませんでしたが、学級予選の中にも素敵な発表がたくさんあったようです。「めんどくさい」と思っている人もいたかもしれませんが、自分の意見を整理しみんなの前で話す経験は貴重です。

学級旗 - 学校制作

